

別紙

熊本市バスも値上げ

来年4月から初乗り150円

熊本市バス(熊本グループ2社に次いで)は31日、来年4月3社目。熊本市バス1日からの路線バスの運賃値上げを国土交通省に申請した。初乗り運賃を現行の130円から150円に引き上げ、平均で12・0%アップとなる見通し。収支改善が目的で、来年4月の消費税引き上げ分は別途申請する。

県内バス事業者の値上げ申請は、九州産交、県庁前が現行の200円から240円に、尾団地が230円から260円に上がる。12年度の運行収支は3億1679万円の赤字。運賃改定後は8600万円の増収を見込む。山内清宏社長は「利用者には負担増となるが、国に認められる範囲での値上げで、異字化は程遠い。引き続き、経費節減に努めたい」としている。

(田川里美)

九州産交バス値上げ

4月 20〜50円他社も検討

九州産交バスと産交バスは、経営環境の悪化を理由に生活路線バスなどの運賃の平均14・3〜18・4%の引き上げを九州運輸局に申請した。来年4月1日から20〜50円値上げする予定で、初乗り運賃は130円から150円になる。値上げは1992年以来22年ぶり。他にも民間3社のバス事業者が値上げを検討している。高速バスは値上げしない。

九州産交バスは熊本市内と郡部を結ぶ基幹路線や同市内、産交バスは郡部を中心に運行している。

九州産交バスによると、路線バスの輸送人数はピーク時の70年代後半から半数以下に減少。ここ3年間で、年間便数を約6万2千便少なくするなどの経営の合理化を図ってきたが、燃

油価格の高騰や利用者数の減少に歯止めがかからず、このままでは事業継続が困難と判断したという。

生活路線バス以外では、熊本空港リムジンバスと熊本港シャトルバス、阿蘇登山線が20〜110円程度値上げする予定。

両社の他にも、熊本バス、熊本電気鉄道、熊本市バスの3社も同様に値上げを検討中という。

九州産交バスの森敬輔社長は「現在の初乗り130円は九州内で最安。利用者には申し訳ないが理解いただきたい」と話している。

バスで熊本市内に通勤する菊池市の会社員女性(20)は「3カ月の定期代が5万4千円なので、値上げは大きい。消費税もあり厳しいです」と話した。

(森田岳穂)

平成25年11月9日(土) 熊本日日新聞

熊本バス値上げ申請

県内民間5社そろって

熊本バス(熊本市)は8日、来年4月1日からの路線バスの運賃値上げを国土交通省に申請した。初乗り運賃を現行の130円から150円に引き上げ、平均で11・0%アップとなる見通し。収支改善が目的で、来年4月の消費税増税分は別途申請する。

消費税増税分の転嫁を除く本格改定は1992年以来。これで、県内で路線バスを運行する民間事業者5社すべてが、ほぼ同様の運賃値上げを申請した。熊本バスの値上げ幅は最大60円程度。熊本交通センター(熊本市)からの運賃は、イオンモール熊本クレア(嘉島町)が現行の330円から380円に、通潤山荘(山都町)は1240円から1300円に上がる。定期運賃は、運賃改定に併せて割引率を一本化するため、一部路線は値下げ

となる。

2012年度のバスの運行収支は2億1千万円の赤字。試算では運賃改定による14年度の増収額は7900万円を見込む。同社は「利用者には負担増になるが、引き続きサービスの向上と経費削減に努めたい」としている。

(田川里美)

平成25年11月6日(水) 熊本日日新聞

電鉄バス 運賃値上げ申請

初乗り150円に

熊本電気鉄道(熊本市)は5日、来年4月1日からの路線バスの運賃値上げを国土交通省に申請した。初乗り運賃を現行の130円から150円に引き上げ、平均では11・4%アップとなる見通し。

値上げ申請は収支改善が目的で、消費税増税分の転嫁を除く本格改定は1992年以来。来年4月の消費税増税分は、今回値上げ申請を見送った電車と

ともに別途申請する。

値上げ幅は、長距離路線で最大100円程度。熊本交通センター(熊本市)からの運賃は、楠園地(同市)が現行の360円から410円、菊池温泉・市民広場(菊池市)が820円から920円に上がる。定期は通勤、通学ともに10%台のアップを見込む。

2012年度のバスの運行収支は4122万円の赤字。試算では運賃改定による14年度の増収額は1億1700万円、黒字化する見通し。同社は「利用者数の減少と原油価格の高騰が続く中、行政の補助金なしで運営してきたが、限界と判断した」としている。

(田川里美)

運賃値上げ意見 国交省が聴く会

全国で初、熊本で11日
国交省は11日、公共交通機関の運賃値上げについて、「説明及び意見を聴く会」を全国で初めて熊本市で開く。県内の主要なバ

バス運賃値上げ 国交省が公聴会

来月11日、熊本市

国土交通省自動車局は、県内バス事業者5社が申請している運賃値上げに関し、利用者を対象にした「説明及び意見を聴く会」を12月11日午後6時から熊本市中央区の崇城大市

民ホールで開く。乗り合いバスの運賃など公共料金の決定過程に、消費者が参画することを求めた政府の

30円(一部140円)を150円にし、平均で8・7〜12・0%引き上げる計画。公聴会では、バス事業者5社が申請内容を説明し、事前に受け付けた利用者が意見を述べる。発言希望者は12月9日までに申し込める。傍聴のみの参加もできる。

問い合わせや申し込みは九州運輸局旅客第一課(092(472)2521。同局ホームページに詳しい参加方法を掲載している。

ス事業者5社が来年4月からの値上げを申請しているため、意見は国交省や運輸審議会の審査の参考にするという。

公共交通機関の運賃値上げは、国交省が運輸審議会からの答申を元に認可するかどうかを決める。2010年に「値上げの審査に消費者の参画を進める」との趣旨の閣議決定があり、準備していたという。

県内では、九州産交バスなど5社が、利用者数の減少などによる経営環境の悪化を理由に初乗り運賃を150円に上げるなどの値上げを申請している。会には同省の他、5社の社長や担当部長が出席予定。

会は午後6時から、熊本市中央区の崇城大市民ホールで。定員は約150人。質問者の持ち時間は5分程度で、9日までに申し込みが必要。傍聴は当日参加も可能。

申し込み方法の詳細などは同省のホームページ(03・5253・8111)、九州運輸局(092・472・2521)へ。

(森田岳穂)

平成25年12月12日(木) NHK

バス運賃上げ申請で公聴会



県内のバス事業者5社が国に申請している来年4月からの運賃値上げについて利用者の意見を聞く公聴会が熊本市で開かれ、バス事業者側に対して「新たな利用者を獲得する努力をしてほしい」という意見が出されました。

九州産交バス、産交バス、熊本都市バス、熊本電気鉄道、熊本バスの5社は、来年4月から平均で、8.7%から12%の運賃値上げを国に申請しています。

11日夜、国土交通省が熊本市中央区で開いた公聴会には、利用者10人余りが参加しました。まず、バス事業者各社が値上げを申請した理由について、「少子化や燃料費の高騰などで経営環境は厳しさを増していて、事業を続けるために値上げは避けられない」と説明しました。これに対して、利用者側からは事前に申し込んでいた合志市の57歳の男性1人が意見の陳述を行い、「新たな利用者を獲得する努力をしてほしい」と述べました。

この公聴会の意見は、今月17日に開かれる国の運輸審議会に報告されます。

12月12日 09時33分

県内バス運賃

来月にも値上げ認可

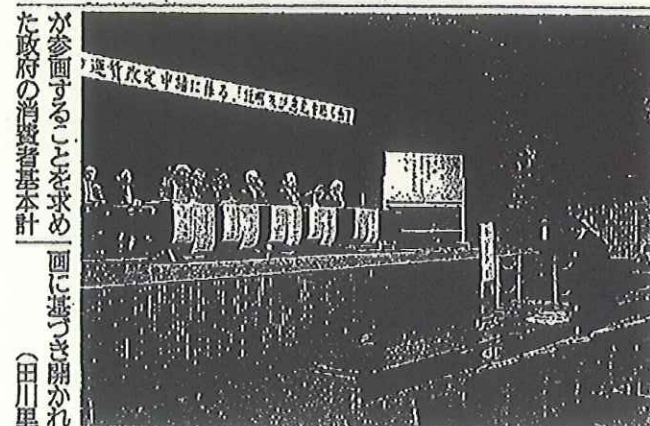
国土交通省、熊本市で公聴会

国土交通省は11日夜、県内バス事業者5社が申請した運賃値上げに関する公聴会を、熊本市民会館崇城大ホールで開いた。利用者の意見陳述は値上げを容認する1件だけだった。同省は、17日に開催予定の運輸審議会に諮った上で、来年1月中にも認可する見通し。

値上げを申請しているのは、九州産交バス、産交バス、熊本都市バス、熊本電気鉄道、熊本バス（いずれも熊本市）。来年4月から初乗りで現行の130円（一部140円）を150円にし、平均で8.7〜12.0%引き上げる計画。

公聴会には関係者ら58人が参加。バス事業者の社長らが申請内容の説明。合志市の男性が「値上げしても利用者が極端に減ることはないと思うが、バス事業存続のため、新規利用者を獲得する努力を」と意見を述べた。バス各社は、今回の運賃値上げとは別に、来年4月の消費税率引き上げに伴う運賃改定も予定している。

公聴会は、乗り合いバスの運賃など公共料金の決定過程に消費者が参画することを求めた政府の消費者基本計画に基づき開かれた。



(田川里美)

国土交通省が開いたバス運賃改定に関する公聴会で、バス事業者に意見を述べる利用者＝熊本市

【別紙2】

(熊本ブロック)

エリア内乗合バス事業者の概要

事業者名	熊本電気鉄道(株)	熊本バス(株)	九州産交バス(株)	産交バス(株)	熊本都市バス(株)	熊本市交通局
前回改定実施年月日	平成4年10月1日	平成4年10月1日	平成4年10月1日	平成4年10月1日	—	平成4年10月1日
前回平均値上率	6.9%	7.7%	5.1%	8.1%	—	5.2%
現 行 運 賃	対キロ区間制					
	基準賃率	29円40銭	31円50銭	30円70銭	31円50銭	31円50銭
	初乗運賃	130円	130円	130円	130円 (荒尾市140円)	130円
備 考	H25/3末認可キロ	245 キロ	278 キロ	2,845 キロ	2,585 キロ	193 キロ
	H25/3末一般乗合車両数	111 両	93 両	214 両	307 両	135 両
	H24年度一般乗合経常収支率	96.2%	74.7%	89.9%	35.0%	73.3%
	資本系列	(株)熊本マタニティサービス	—	九州産業交通ホールディングス(株)	九州産交バス(株)	九州産交バス(株) 熊本電気鉄道(株)